

無料講座説明会&個別受講相談のご案内

無料講座説明会 予約不要 ※当日は会場へ直接お越しください。
内容: □CIAとは □試験制度について □講座案内 □個別相談

日程	八重洲校
時間帯	水曜: 19:00~20:00
2024年 4月	10(水)・24(水)
5月	8(水)・22(水)
6月	5(水)・19(水)
7月	3(水)・17(水)・31日(水)
8月	7(水)・21(水)
9月	4(水)・18(水)

※社会情勢の変化等により、日程が変更となる可能性があります。HPにて最新情報のご確認をお願いいたします。
(https://www.tac-school.co.jp/kouza_cia.html)

無料講座説明会 / 個別受講相談へのご参加 **or** TAC動画チャンネルのご視聴
¥10,000 入会金免除券 プレゼント!!

八重洲校
☎03(6228)8501(代)
〒104-0031 東京都中央区京橋1-12-2
住友生命八重洲東ビル1F

JR東京駅八重洲中央口より徒歩8分 日本橋駅B1出口より徒歩6分
京橋駅6番出口・宝町駅A6出口より徒歩5分

講座説明会やセミナーがWeb上で視聴できる!! **TAC動画チャンネル**
資格の概要や試験制度、TACのカリキュラムをお話する「講座説明会」を無料でご覧いただけます。
<https://www.tac-school.co.jp/>

お問い合わせ 通話無料 **0120-509-117** (受付時間) 平日 10:00~19:00 土日祝 10:00~17:00
※営業時間変更の場合がございます。詳細はHPでご確認ください。
✉ cia@tac-school.co.jp

申込方法 お手続きは簡単です!
詳細については、TAC各校までお問い合わせください。
☆0から始まる会員番号をお持ちでない方は、入会金(¥10,000・消費税)が別途必要です(入会金不要講座・免除講座を除く)。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。

安心! TAC受付窓口

申込書のご記入 → お支払い・お申込み・会員証の発行 → 教材受取 → 学習スタート

お支払い方法

- 現金
- クレジットカード
- デビットカード
- TAC教育ローン

※下記の表示のあるクレジットカードのみご利用いただけます。
※翌月一括・ボーナス一括(利用不可期間あり)のみ選択できます。

ご利用条件等の詳細はこちら ▶
※または各校舎の受付窓口へお問い合わせください。
<https://www.tac-school.co.jp/apply.html>

簡単! インターネット

e受付サイトにてお申込み → お支払い方法を選択 → 会員証の発行 & 教材受取 → 学習スタート

お支払い方法

- クレジットカード(分割払い可)
- コンビニ決済
- 銀行振込(三菱UFJ銀行)
- ペイジー
- TAC教育ローン

※ご利用は申込締切日の8日前までとなります。

おトク! 大学生協等代理店・取扱書店窓口

代理店・書店窓口でお申込み → 申込書類のご提出 → 会員証の発行 & 教材受取 → 学習スタート

注意事項

- 取扱店舗により申込方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みのできない講座・コースもございます。
- 生協等で「申込書類」を必ず受取り、TAC受付窓口にご提出、または右記「郵送」欄の送付先へお送りください。
- 店頭でのご入金ができない場合は、右記「郵送」欄のお支払い方法に沿って、郵送にてお手続きください。

郵送

①講座申込書 ②受講料の振込控え(コピー可)の2点を同封し、下記く送付先へまでお送りください。送付用の封筒および送料はお客様のご負担となります。
※お振込み名義がお申込者と異なる場合、申込書の余白にその旨をご記入ください。
※お申込みに際して、割引等が必要な書類がある方は、必ず同封してください。
会員証は郵送いたします。(教材とは別発送となります。)

お支払い方法

- 銀行振込 (口座名) TAC株 (口座番号) 00140-4-74476 (振込先) みずほ銀行/神田支店 (名称) TAC株式会社 普通預金2142263
- 郵便振替 (送付先) TAC申込手続係 〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町3-2-18

※振込手数料はお客様ご負担となります。※受講料は前払いとなります。
※講座申込書に受講料の振込控え(インターネットバンキングの場合は振込完了画面を出力)を同封し上記送付先へお送りください。

注意事項

- 当案内書の有効期限は、2024年9月までになります(コースにより申込期限が異なりますので、ご確認の上お申込みください)。
- 未成年者(18歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自筆による「同意書」の提出が必要です。
- TAC提携校では、一部お取扱いできない場合がございますので、予めご了承ください。
- 一般教育訓練給付制度の利用をお考えの方は、受講申込前にTAC発行の「教育訓練給付制度パンフレット」にて制度の内容及び対象コースを必ずご確認ください。
- 一般教育訓練給付制度を利用される場合は、対象コースをお申込みの上「教育訓練給付制度申請申込書」をTACへご提出ください。

資格の学校 **TAC** WASEDA セミナー
WセミナーはTACのブランドです。

TAC
公認会計士 / 税理士 / 簿記検定 / 行政書士 / 弁理士 / 通関士 / 知的財産管理技能検定 / 公務員(地方上級・市役所・国家一般職・技術職・心理職・福祉職・警察官・消防官) / 教員採用試験 / 社会保険労務士 / 中小企業診断士 / 不動産鑑定士 / 宅地建物取引士 / 建築士 / マンション管理士 / 管理業務主任者 / 電気主任技術者 / ファイナンシャル・プランナー / 証券アナリスト / 米国公認会計士 / 公認内部監査人(CIA) / 情報処理技術者 / パソコンスクール / CompTIA / ビジネスプロ養成スクール

Wセミナー (WセミナーはTACのブランドです)
司法書士 / 公務員(国家総合職・外務専門職)

334-0901-1003-15

資格の学校 **TAC**

[LICENSE GUIDE] 2024.04-2024.09

公認内部監査人

国際資格はTAC!!

2022年度 国内合格者数
655名!!
学習するなら今がチャンス!
(日本内部監査協会公表資料より)

CIA

Certified Internal Auditor
[公認内部監査人]

e-uketsuke 受付
TACお申込みサイト
Webで
"いつでも"かんたん申込み!
<https://ec.tac-school.co.jp/>

- 1 出題傾向に沿った教材!
- 2 豊富な問題数 約1,600問!
- 3 安価な受講料で学習可能!

一般教育訓練給付制度対象コース有り

無料講座説明会 出席者特典!! **¥10,000** 入会金免除券 プレゼント

詳細は裏面をご覧ください

資格の学校 **TAC**

組織の崩壊を防ぎ、企業価値向上を目指すのが、CIA!!

なぜ、組織体にCIA(公認内部監査人)が必要なのか?

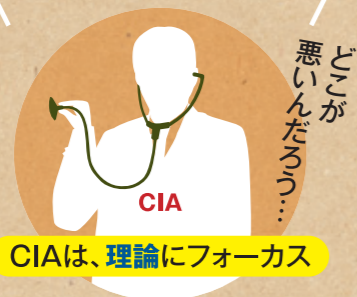
CIA

およその学習時間は
300~400時間

CIAは、内部統制・内部監査に関するスペシャリストを称する国際資格です。CIAは、組織やその構成員を守るために内部統制の有効性を評価・改善を促し、組織が目標を達成することを支援します。CIA試験は、世界約190の国と地域で実施されており、世界のあらゆる組織においてCIAが必要とされています。



CIAは、ホームドクター

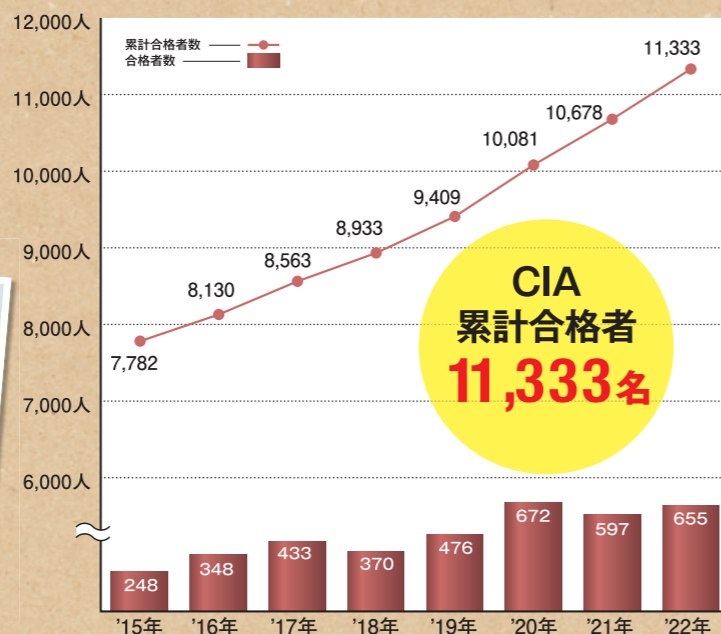


悪いことが
悪いらるう...

CIAは、理論にフォーカス

※上記は、あくまでもイメージです。

▶日本国内におけるCIA試験 合格者数

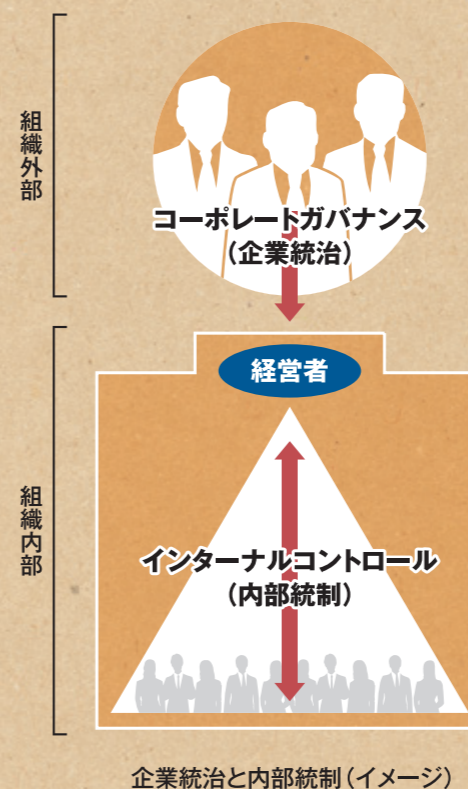


※上記合格者数は、日本内部監査協会公表資料に基づいています。

近年、組織体であらゆる問題(粉飾決算、食品偽装、危機管理体制の不備等)が生じているのは、**内部統制**と**企業統治**が正常に機能していないことが主要因として挙げられます。グローバル化・インターネットの発達等により、世界は「人・モノ・カネ・情報」が国境を超えて瞬時に行き交うようになりました。

組織に対する価値観にも変化が生じ、以前にも増してより高い倫理性・透明性が求められる時代に突入しています。

昨今の不祥事から、CIAで学習する**内部統制**や**企業統治**の知識は、内部監査人だけでなく、**組織を構成するあらゆる人が学習すべき内容**です。



コーポレートガバナンス(企業統治)

企業の利害関係者(株主等)が、企業価値の向上および適正な事業活動を維持するために、経営者とその職務執行をチェックする仕組み。

インテナルコントロール(内部統制)

企業が適正な事業活動を維持するために、独自に構築する社内ルールや管理体制などの仕組み。
内部監査は、内部統制の有効性を評価・改善を図ることにより、組織の目標達成を支援することをいいます。

企業統治と内部統制(イメージ)

内部統制知識の欠如が組織を崩壊させる!!

内部統制は、経営者と従業員が一丸となり、自主的に構築していくものです。しかし、組織体に適切な知識を持った者がいなければ、内部統制は形骸化し、組織や個人に暴走する機会を与えてしまいます。組織や個人の暴走を抑止し、**適切な組織作りを支援するのが、CIAです。**

CONTENTS

▶試験制度	P3
▶TACの強み	P5
▶合格者の声	P6
▶講師紹介	P9

▶TACオリジナル教材	P10
▶学習メディア	P11
▶フォロー制度	P12
▶実践的カリキュラム コースガイド	P13

▶日程表	P15
▶受講料一覧	P17
▶CPEについて	P19
▶無料講座説明会日程&申込方法	裏表紙

申込要件と認定要件

※CIA試験は「**認定資格受験者管理システム(CCMS)**」を通して受験情報が管理されます。
受験の際はまずアカウントの作成が必要です。

申込要件		認定要件	
1.教育要件	2.身分証明書	3.試験の合格	4.実務経験
修士号(大学院卒業)	✓	✓	12ヶ月
学士号(大学卒業)	✓	✓	24ヶ月

※最終学歴が修士・学士以外の方は、初回受験登録時に5年以上の実務経験があることが必要です。

試験プログラムの有効期間(3年)

初回受験申込登録完了から3年以内に、下記1～4の要件を満たす必要があります。

有効期間を越えてしまった場合、再度試験プログラムに申込みことはできますが、前回の有効期限内に合格されたパート試験も再受験する必要があります。

1. 教育要件

学歴証明の証拠書類が必要です(学位証明書・卒業証明書など)。

CCMSへ学歴証明の証拠書類をデータ化しアップロードします。

※証明書に記載の姓名と現在の姓名が異なる場合、変更を証明する書類(戸籍抄本など)も併せてアップロードします。

2. 身分証明書

現在有効な政府発行の顔写真付身分証明書が必要です(運転免許証・パスポートなど)。

CCMSへ身分証明書をデータ化しアップロードします。

3. 試験の合格

試験は3科目です。初回受験申込登録完了から3年以内に以下3パートの合格が必要です。

- ・ PartI (内部監査に不可欠な要素)
- ・ PartII (内部監査の実務)
- ・ PartIII (内部監査のためのビジネス知識)

4. 実務経験

初回受験申込登録完了から3年以内の任意のタイミングで実務経験の証明が必要です。

以下の実務経験を証明できる現在の上司またはIIA国際資格保持者の方にご依頼ください。

※内部監査、品質のアシュアランス、リスクマネジメント、監査・評価・懲戒、コンプライアンス、外部監査、内部統制

CCMS上で証明者の情報を入力すると、証明者へメールで「証明書の依頼」が送信されます。

証明者が提示された内容に同意、「提出」をクリックすることで証明が完了します。

試験概要

CIA CIA試験は次の3科目から構成され、科目合格制となっています。

Part I : 内部監査に不可欠な要素	Part II : 内部監査の実務	Part III : 内部監査のためのビジネス知識
2時間30分:125問 [出題割合]	2時間:100問 [出題割合]	2時間:100問 [出題割合]
<ul style="list-style-type: none"> 内部監査の基礎 15% 独立性と客観性 15% 熟達した専門的能力および専門職としての正当な注意 18% 品質のアシュアランスと改善のプログラム 7% ガバナンス、リスク・マネジメントおよびコントロール 35% 不正リスク 10% 	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査部門の管理 20% <ol style="list-style-type: none"> 内部監査部門の運営 リスク・ベースの内部監査計画の策定 最高経営者および取締役会への伝達と報告 個々の業務に対する計画の策定 20% 個々の業務の実施 40% <ol style="list-style-type: none"> 情報の収集 分析および評価 個々の業務の監督 個々の業務の結果の伝達および進捗状況のモニタリング 20% <ol style="list-style-type: none"> 個々の業務の結果の伝達およびリスク受容 進捗状況のモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス感覚 35% <ol style="list-style-type: none"> 組織体の目標、行動および業績 組織構造とビジネスプロセス データ分析 情報セキュリティ 25% 情報技術(IT) 20% <ol style="list-style-type: none"> アプリケーションおよびシステム・ソフトウェア ITインフラストラクチャーおよびITコントロール・フレームワーク 災害復旧 財務管理 20% <ol style="list-style-type: none"> 財務会計および財務 管理会計

<input type="checkbox"/> 試験会場	PearsonVUEが認定するテストセンター (札幌市、仙台市、東京都、横浜市、名古屋市、大阪市、広島市、松山市、福岡市、那覇市) http://www.pearsonvue.com/japan	<input type="checkbox"/> 受験言語	日本語またはいくつかの言語
<input type="checkbox"/> 試験日	通年で科目ごとに受験が可能 テストセンターの営業日であれば、ご自身で試験日を決めることができます。	<input type="checkbox"/> 試験結果	採点は科目ごとに行い、得点は250から750ポイントのスケールドスコアに換算されます。合格ラインは各科目600ポイント以上です。 終了後に、仮の試験結果が発行され、48時間以内に正式な結果がCCMS上で確認可能となります。
<input type="checkbox"/> 試験方式	コンピュータ・ベース・テスト(CBT) ※試験は、試験会場に備えられたパソコンにより出題・解答のすべてが行われます。 ※受験者が電卓を持参することはできません。パソコンの電卓機能を使用します。	<input type="checkbox"/> 再受験	不合格の科目は、前回受験から30日が経てば申込可能です。 ※同一科目は最大8回まで受験可能です。8回の受験で合格できなかった場合、現行のプログラムを終了させ、また1から新規プログラムの申込(3年)が可能です。
<input type="checkbox"/> 出題形式	四肢択一式		
<input type="checkbox"/> 出題数	各科目100～125題		
<input type="checkbox"/> 試験時間	PartI 2時間30分、PartII・III 2時間		

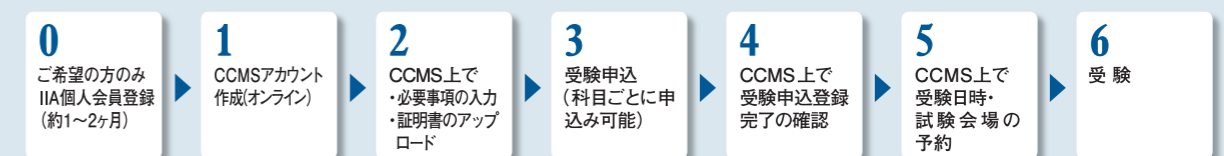
受験費用

CIA	新料金			
	2024年6月30日まで		2024年7月1日から	
	IIA個人会員	IIA個人会員以外	IIA個人会員	IIA個人会員以外
登録料	¥13,000	¥27,000	¥18,000	¥36,000
CIA PartI	¥35,000	¥51,000	¥46,000	¥66,000
CIA PartII	¥31,000	¥47,000	¥42,000	¥62,000
CIA PartIII	¥31,000	¥47,000	¥42,000	¥62,000

※The Institute of Internal Auditors(略称IIA:内部監査人協会)
 ※IIA個人年会費¥20,000(入会月より起算して1年)(2024年2月時点)
 ※入会には1～2ヶ月かかります。「IIA個人会員」料金は、個人会員手続きが完了しているの方に適用されます。

受験手続

CIA 【申し込みから合格までの主な流れ】



※3～6を繰り返し、3科目の合格をする(初回受験申込登録完了から3年以内)

TACの強みは!?

TACの強み
1

出題傾向に沿った教材！

TAC CIA講座では、IIA(内部監査人協会)が公表している出題シラバスを分析し教材を作成しています。出題割合も加味しメリハリのついた教材であるため、効率的・効果的に学習をしていただけます(現行試験2019年10月～対応版)。

※将来的に試験制度の変更があった場合は、安価で追加の教材をご購入いただけるフォローを予定しています。

▶P4、P10

TACの強み
2

豊富な問題数 約1,600問！

CIA試験では、本試験問題が公表されておりません。そのため、合格には規定を細かく覚え、アウトプットとして予想問題を多く解くことが一番の近道となります。TACではテキストとトレーニングを併せて約1,600問の問題を掲載しています。これらの問題は、紙でもWebでも解くことが可能です。

▶P10

TACの強み
3

安価な受講料で学習可能！

TAC CIA講座では、CIA本科生(IPPF教材あり)コースを168,000円でご受講いただけます。受講料には、テキスト・トレーニング・講義が含まれており、内部監査・内部統制の学習が初めての方でも安心して学習を開始していただけるカリキュラムとなっています。

▶P13~14

CIA試験合格者インタビュー

ホームページには合格者の声を多数掲載中！是非ご覧ください！

TAC CIA 検索

合格者の声

CIA試験は、その試験の特性(CBT試験でいつでも受験可。合格者情報の非開示)から正確な合格者数を把握することはできません。TACでは、実際に合格された方の体験記を多数掲載しています。



大坂 啓介さん

合格は一筋縄ではいかない。
だから講座が必要。

これまで漠然とCIAの存在は知っていたものの、資格のメリットが明確でなかったことや、受講費用、受験費用、資格維持のための継続教育に必要な費用など、お金が必要なイメージが強かったために資格への意欲は湧きませんでした。しかし、他社の内部監査の方から海外の監査を行う場合、CIAの有無が影響すると聞いてからこの資格が必要だと感じたため、CIAの受験に必要な実務経験5年に達したのを機に、資格取得を決意しました。

他社の講座や市販のものを含め、問題集通りの問題はほぼ出題されないため、問題集の種類や回数をこなしても、合格レベルに引き上げることは難しいです。一般的な試験のように、明確な正解や不正解があるわけではないことや、本試験では全て合っている/間違っているように見える問題も出されることから、試験で与えられた状況をもとに、自分なら何を根拠にどう判断するかという視点で学習することも大切です。



伊藤 尚晃さん

自分を信じて頑張ってください

CIAを目指すにあたりネット等で色々情報収集しましたが、正直独学では厳しいという意見が多く、受講料金や大手の予備校であったこと、また合格体験記などを参考にTACで受講することにしました。

多くの合格者の方が書いていますが、どれほど問題集を完璧に近いレベルにまでやりこんでも、本番では「えっ?何じゃこりゃ?」という問題が、ホントびっくりするくらい次から次へと出てきます。特にパート1,2はその傾向が強いので、この教材では受からないんじゃないかと諦めがちになります。でも、多少は他社の教材も使った今だから言えますが、それは教材のせいではないと思います。凄く泥臭い話になるんですけど、教科書とか赤本を一字一句徹底的に読んで、基本を徹底的に覚えこませる。先生が覚えろと言ったところは完璧に覚える。そのくらい徹底してやれば、受かると思います。絶対受かるんだ。そう自分を信じて頑張っていたら良かったと思います。



伊藤 正人さん

事前準備は入念に控えず
1PARTずつ着実に

自分のキャリアの中で取引先の経営戦略サポートや事業再生支援が重要なファクトであったこと、また昨今企業にとって内部統制の重要性が高まる中、これまでの知識・経験を活かしつつ自らのスキルアップとして専門的、体系的かつ国際的な資格としてCIA取得を目指そうと思い、チャレンジしました。

PARTIIはCIAの基礎知識であり、「基準」の文章を意識して学習しました。テキストとRED BOOKの読み込みを中心に、問題演習は本試験前に集中的に行いました。PARTIIは範囲は広くないですが、私的には一番苦労しました。日本内部監査協会発行資料も加えて勉強しなおし、実務での実践をシミュレーションして臨んだら最後はすんなり合格しました。PARTIIIは講師のアドバイスを通り、テキスト以上の参考書は広範すぎて大変なので、問題集を中心にテキストで確認を行いました。



大西 一広さん

基準や考え方の学習

CIAを学習しようと思ったきっかけは、内部監査の実務に携わるようになり、監査でアシュアランスやアドバイザーを行うにあたってベースになる一般的な基準を身につけたかったためです。

内部監査人はある程度の実務経験を踏んだ50代以上の人が多いですが、もともとはダイバーシティ(国籍や性別、ハンディキャップの有無)に適合したwelcome everybodyの資格だと思いますし、監査という視点で経営を学ぶこともできる資格ですので、チャレンジしがいがあると思います。

また、学習中の方におかれましては、長期の学習期間のためモチベーションの維持や記憶の維持が大変だと思います。毎日5分でよいので(例えば赤本で基準を1つ読むだけとか、問題集を1問解くだけとか)とにかく「毎日続ける」を大事にしてください。

私も途中4か月ほど空いた時期は、赤本1基準分読み込みだけは続けました。



久山 大さん

内部監査人のスタートライン

これまで営業店での勤務経験しかないなかで、監査部への異動を拝命しました。内部監査業務について基礎から学ぶ方法がないかと思案していたところ、職場の有資格者から資格取得に向けた学習を薦められたこと、学習内容が実務に則していると感じられたことがきっかけで、CIAを学習しようと思いました。

八重洲校で講義を受けることから学習を開始しました。都合で受講できなかった講義はwebで録画受講しました。学習の導入時に校舎で受講できたのは、受講生の方の真剣さを肌で感じる事ができ、長丁場の学習を継続する上で良かったと感じています。また、問題集は量、質共に十分だと思います。繰り返し問題に取り組むことができ、理解が不十分な項目に気づくことができました。

合格した際には、ようやく内部監査人としてのスタートラインに立てたと実感できました。現在、実務経験を積み資格登録すべく、日々の内部監査業務に取り組んでいます。



山岡 大祐さん

基準にまでさかのぼった理解と
入念な準備で挑もう

当時、私はIT系企業に勤めており、将来的にシステム監査やITコンサルティングの仕事をしたいと考えていました。その一歩として公認情報システム監査人(CISA)を取得したのですが、さらに監査や経営に関する知識を身につけ、一層自身の市場価値を高めたくCIAを学習しようと思いました。

Part1・2に関しては、根拠を基準にまで遡って解答できるようになる必要があります。これから学習される方は、TACのテキスト・トレーニングだけでなく、基準も手元に置いて、随時確認するといかもかもしれません。

Part3に関しては、簿記や情報処理試験の合格者であっても、侮らずにトレーニングに臨むことが大切です。Part3の試験範囲は、ビジネス感覚、情報セキュリティ、IT、財務管理から成りますが、他の会計系資格やIT系資格とは問われる観点が異なる、あるいは、問題文の意図が理解しづらいところが多々あるからです。

よくある質問 Question & Answer

Q 合格までの学習時間はどのくらいですか？

A 約300時間～400時間（講義時間含む）が目安となります。TACが実施している合格者アンケートによると、合格までの平均学習時間は約300時間～400時間です。



渡辺 誠一さん

TACを信じて正解でした！

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

内部監査室への異動が決まり、業務経験ゼロからのスタートでしたので、基礎知識を強化し実務に活かしたいと思い学習をしました。また、CIA（公認内部監査人）が国際資格である事も、学習の理由の一つです。自分のこれまでのキャリアやスキルに国際基準の知識、判断軸を加え、内部監査実務をする事で会社に更に貢献できるのではないかと考えました。自身のスキルアップと会社への貢献の両方を実現したいと考えました。

CIA試験は、初見問題が多い、過去問題が開示されない、試験の情報量が少ない、かつ一般的に流通している問題集よりも難易度が高い、など対策がしづらい試験だと思います。また、モチベーション維持、集中力の維持も大変かと思えます。（これは私だけかもしれませんが）ただ、TACテキスト、トレーニング集および講義をベースに表面上の知識でなく本質を捉える事を意識してしっかりと学ぶ事で、対策ができる試験だと思います。是非頑張ってください。



後藤 祥平さん

落ちた時こそ頑張り時

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

昨年、公認会計士として登録した後、欲が出て、もう一つぐらい名刺にける資格を取りたいと考えました。ただ、業務が非常に多忙なこともあり、勉強時間を捻出できる自信がなかったため、受験をするうえで優位に進められそうな資格（自身の業務と親和性が高い資格）を調べたところ内部監査系の資格であるCIAにたどり着きました。これから学習をされる方や、学習中の方へのアドバイス

CIAの試験を難しくしている要因は過去問が公表されていないことと合格率が公表されていないことが挙げられます。

個人的な経験ですが、そのような不確かな状況下で合格を勝ち取るには、如何に“自分の使っている教材をやりこめば合格できるか”を信じられるかが重要になると考えます。一生懸命勉強して不合格だったときは、すく落ち込みますが、それでも教材をやっているれば受かると“妄信”して“猛進”すれば合格できますので、あきらめず頑張ってください。



大庭 広紀さん

知識を使う想像力が大切な試験

職場では内部監査部門に所属しているわけではなく、法務部門・総務人事部門を通じて内部統制の維持強化、内部通報制度などに携わっています。日々の業務ではどうしても所属会社中心の知識経験になりがちということもあり、今後も重要視されているコーポレートガバナンスを支える内部監査という仕事の知識や実務、そして、これらに必要とされるビジネス知識を、世界標準の試験を通して体系的に学ぶことができるという点が大きな動機になりました。

アドバイス等：講師が暗記すべきとした部分は確実に暗記をしたうえで、その背景にある考え方を理解するために時間をかけるようにしました。暗記を進めていくと、同じような単語や考え方に会うことがあるかと思いますが、それが背景にある考え方への筋道です。この点が見えてくると、問題集をあえて暫くぶりに解くようにしても、筋道から十分対応できるようになり、正誤がはっきりした肢ではないものでも、優劣をつけて回答できるようになると思います。知識を想像力に生かすことで、資格試験だけではなく、実務にも十分生かせる知識技能が習得できると考えます。



辻ヶ堂 卓さん

Time Is Money

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

監査部に異動になったところ、CIA資格取得が推奨されていました。日々の実務を通じて、監査の国際基準への深い理解が仕事の質の向上に直結すること、そのための最短ルートがCIA取得取得であることに気づき、勉強を始めることにしました。

資格取得には一定のまとまった時間が必要です。私は学習時間をその都度分単位で記録し、休憩を除く正味の学習時間を週20時間積み上げていくことをモチベーションにしていた。集中法としては、「ポモドーロ・テクニック」を用いました。25分の集中時間と5分の休憩を繰り返していく手法で、これをサポートするスマホアプリもあり、非常に有用です。

TACに決めたら、あとはしっかり学習時間を積み上げれば、合格が近づくと考えます。ご自身が一週間に何時間勉強することが持続的に可能かを把握した上で目標時間を設定し、毎週目標時間をクリアしていくことが大切なのではないでしょうか。みなさまに良い結果が訪れることをお祈りしております。



和地 一樹さん

TACの講座でCIA合格

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

CIA取得を目指し、学習を始めた理由は、転職先の企業の採用ポジションが内部監査だったことです。日々、監査業務に取り組む中、業務で得た知識や経験も大事ですが、より監査業務を深く知り、さらに効果的なものにする上で、監査に関する理論やフレームワークなどを習得することは、自身が今後この分野でキャリアを築く上で重要になると考えました。

勉強方法：問題集を解くだけでなく、なぜ、この選択肢が正解なのか、この問題は本質的に何を問うているのかなど、1問ずつ深く考える癖を身につけるようにしました。同時に問題を解いたら、テキストの該当箇所に戻って、再度、その部分の理論を学習し、徹底的な理解に努めました。地道な学習ですが、これが結果的に合格へとつながったのだと思います。



森下 純也さん

Part IとPart IIの不合格を乗り越えて

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由は、今後も仕事を続けていく事を助けてくれそうな外部資格の取得を検討した際、CIAは日本国内に留まらない国際的な資格であり、自分自身のこれまでの業務経験を生かしつつ、新たなスキルの獲得も可能にしてくれるように感じられたためです。勤務する会社にTACのCIA講座受講をサポートしてくれる制度が存在しており、受講申込前に講義内容やテキスト・問題集等を確認し、内容が網羅的で充実していると感じたため、TACでの受講を選びました。

これから学習をされる方や、学習中の方へのアドバイス：

CIA試験は講義・テキストの内容理解を問題の正答率向上に結び付ける事が難しいと感じました。テキストをじっくり理解してから問題集に取り掛かるのではなく、早い段階から問題集を繰り返し解いたほうが良いと感じています。



山下 敬弘さん

公認会計士 CIA TACの良質な教材・講義で、公認会計士とCIAのダブルライセンスを取得！

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

現在の勤務先である独立行政法人において、長らく財務経理部門にて財務諸表の作成に携わっていましたが、監査室に異動となり、既に取得していた公認会計士としての知識や経理の実務経験を活かしてCIAにもチャレンジしようと思ったのがきっかけです。また、途中から監事スタッフ（監事室）も兼任することになり、その時に監事からの後押しもあり、受験することを決意しました。

これから学習をされる方や、学習中の方へのアドバイス：

CIAの学習を通して、内部監査実務に直結する知識を得ることができ、さらには内部監査の本質を理解出来ました。CIAを学習し始めてからは、明らかに良い監査ができるようになったなど実感しています。内部監査実務に従事している方はもちろん、公認会計士や監査役の方にもCIA資格取得を目指すことをお勧めします。



篠塚 進さん

急がば回れ

外資系通信会社で、営業企画の仕事をしている際、インセンティブ管理で常に不正行為と隣り合わせであった為、客観的な指針が必要だと感じ、勉強を始めました。内部監査以外の部署でもリスクの高い仕事をする際には非常に効果的な資格かと思えます。

ギリギリで試験に落ちることがあるかと思いますが、めげずに基本をなんども繰り返して勉強してみてください。私は通信講座で勉強をしていたのですがPart1を落ちた後に、講師に直接勉強方法を尋ねに伺いましたが、非常に丁寧に対応していただきました。特に参考になったのは「4択の問題を正解したからといって安心するのではなく、夫々の肢が何故間違っているのか、合っているのか、それぞれが一問一答だと思って解くように」というアドバイスでそこから勉強方法が変わったと思います。

非常に微細な論点を狙ってくる、どちらでも正解と思える問題が多いので苦労が多い資格ですが、そこで自分の選択の正解率を少しでも上げていけるよう、細かい論点を整理していくことが必要かと思えます。急がば回れかもしれません…



安東 敏明さん

諦めないことの大切さ

きっかけは、会社の業務で内部監査の知識及び理解が必要となり、書物等で見識を高めようとした。しかしながら、読んでいるときは理解できるのですが修得とまでは程遠く、この勉強方法で本当にいいのかと悩んでいました。あるとき会社の業務で、社内の内部監査部スタッフと仕事をし、彼らは小職にはない知識と業務に対する理解を所持していました。彼らのかんりの人がCIA合格者と知り、小職は「これだ」と思いました。

DVDコースを選択していましたが、テキストとDVDでの理解、その後、トレーニングで理解の確認を繰り返しました。しかし、なかなか合格に至らず、「テキストも何度もよみトレーニングも何度もかすが、合格できず、どれだけやれば合格するのか？」と心が折れかけたとき、講義の中で講師の先生が「テキストをなめるよう読むべし」と言われていました。そう言われてみて初めて、自分で「そこまではやっていない」と気づき、改めてテキストとトレーニングを繰り返し、理解修得に努めました。講師の先生のあの一言に感謝しています。



野田 啓介さん

経験に依拠しない合理的推論習得に役立つ試験

2014年頃に大きな試験制度変更が為されておりますので、近年、難化していると思えます。過年度合格者コメントや資格難易度サイトを鵜呑みにせず、着実に階段を上がるアプローチが定石です。全員が正答可能な問題も数多く含まれており簡単に見えますが、可否を分かつ問題は判断に悩む筈です。米国式の考え方に抵抗ない方、システム・会計監査等の本質的理解に造詣が深い方は、半年程度で合格する方が居ても不思議でない一方、取り組みプロセスや考え方のフレームワークを習得できない方は永遠に合格点に到達しない試験だと感じています。

実際、偏差値に近い積算方法で80%が合格基準とされていますが、75%では全く惜しいスコアでもありません。しかし、合格レベルまで理解していれば必ず結果に結びつく試験です。

異業種・異職種・異職位に挑戦した際、役に立った試験勉強でした。資格取得自体は手段に過ぎないものの、経験に依拠しない推論及び検証、幅広い領域を正確に理解・整理・報告する能力を強化可能です。是非、これから受けられる方は頑張ってください。



森井 進さん

苦労した分、喜びも大きいです。

現在、内部監査室長をしており、企業が指名委員会等設置会社へと移行するのを機に本格的に学びたく思い、TACさんにお世話になることとなりました。TACは、事業所の近場に八重洲校があったこともありますが、スクールとDVD講義の二本立てで気軽に参加できることが魅力的でした。

DVDやテキストはとてわかりやすくプロフェッショナルであることは言うまでもありませんが、スクールで小菅先生の業務レベルの話はある意味実務で参考になっています。

私は恥ずかしながら受験回数8回でようやく全教科合格にたどり着きました。おかげさまで(?)テキスト、トレーニングはどれほど学習したか?なんとなく合格する資格試験は多くありますが、これまでの人生を通して、これほど苦労して合格したものはないので、感慨ひとしおです。

スムーズに合格される方もいれば、苦労される方も多くいると思います。負け惜しみかもしれませんが、多く苦労した分、喜びも大きいですよ。本当に取得したいと思うのであれば、あきらめずトライしてほしいと思います。



原 武彦さん

正解への道は、テキストの中にあります。

会社の内部監査部門の創設に合わせ、配属されました。全てを一から作り上げる必要があったため、IIAの国際基準を拠り所として規程や計画を整備しましたが、一層の品質向上のため、また体系的な知識理解のため、CIA受験を志しました。

教室での講義はテキストをなめるだけでなく、身近な時事トピックを織り込んだ生きた知識だったことが良かった。また試験合格の観点では、テキスト内容を平板に説明するのではなく、メリハリを利かせ理解すべきポイントを明確にする進め方が良かったと思います。

自分はPart2を1度不合格になっています。その際の印象は、正答が絞りきれない、というものでしたが、再受験のため改めてテキストを学習すると、正しい理解をしていけば、正答にたどり着けることに気がつきました。トレーニングの内容がそのまま試験に出ることは無いと思いますが、テキストを基に先生の説明の意図するところを適切に理解すれば、短期間の合格も可能だと思います。

TACは“短期合格”をコンセプトにかかげています。
そのため、講師陣は実務経験はもちろんのこと全員試験対策のスペシャリストが担当しています！



小菅 章裕氏

公認内部監査人(CIA)
内部統制評価指導士(CCSA)
中小企業診断士

特定行政書士
▶Part I・II・III担当(教室)
▶Part I・II・III(収録2021年)

CIAは内部監査の専門家である証(あかし)です。CIAになると、CPEの取得、内部監査協会のフォーラム参加により知識、経験に磨きをかけることができます。CIA講座では実務イメージを加味してガバナンス、内部統制、内部監査を取り上げます。きっと新たな発見(例えば海外拠点監査に役立つ海外の経営の在り方、日本との違い等)があるでしょう。これが、国際資格であるCIA学習のメリットです。一方で、CIA試験は範囲が広く、かつ概念論が中心となるため、独学での準備には限界があります。もし、独学で「モヤッ」とした印象が残る、問題集の解説を読んでも理解できない、という方は是非、TACの通学講座へ参加してください。

長年のコンサルティング等の実務、そして指導経験が皆さんの学習の効果効率を高め、「出席してよかった」「おもしろかった」という感想を得られるよう汗をかきたいと思っています。是非、CIA講座でお会いしましょう！

Profile 財務アドバイザー・ファーム退職後、セミナー講師として活動中。
大学卒業後、金融機関でデリバティブ・ディーリング、ミドルオフィスでの金融検査対応を行う。退職後、ディレクターとして統合リスク、不正リスク、PMI(ポスト・マージャー・インテグレーション)等のプロジェクト指揮経験を有する。



田中 義徳氏

公認内部監査人(CIA)
米国公認会計士(USCPA)
プロジェクトマネジメントプロフェッショナル(PMP®)

公認ビジネスアナリスト(CBAP®)
▶Part I・II・III(収録2019年)

企業を始めとする組織体を取り巻く環境はグローバル化とIT化により急速に変化しています。このように急速に変化する環境の中にある組織体においてその目的・目標達成を客観的な立場から支援する内部監査人の役割が増えています。

内部監査人という一般的なには社内におけるルール違反や不正の発見などが主たる業務というイメージがあるかもしれませんが、実際は組織体の経営目標の効果的な達成を客観的な視点から支援するというのが本質的な立ち位置です。よって、経営全般に渡る非常に幅広い視野が必要であり、時には経営陣に対して厳しい指摘を出せるだけの知識も必要となります。このように広範な知識が求められる内部監査の世界において、CIA資格の取得は内部監査人が保有すべき体系的知識を有していることの最も有効な客観的証明となり、組織体内外において内部監査のプロフェッショナルとして認められる武器になるでしょう。

是非CIAを取得して内部監査のプロフェッショナルの称号を手に入れてください。

Profile 株式会社フォースウェイブ・コンサルティング代表取締役
経営コンサルタントとして、内部統制整備、海外事業展開支援、海外子会社管理支援、ITプロジェクトの推進支援に従事。



テキスト

計4冊(Ver2.0)
+IPPF

- Part I Ver2.0
- Part II Ver2.0
- Part III Ver2.0 上・下巻



IPPF
内部監査人協会「専門職の実施の国際フレームワーク-2017年版-」



- 発行:日本内部監査協会
- 判型・ページ数:A5判・並製・345ページ
- 頒布価格:¥4,400-(税込)
- ※試験対策としてIPPFの熟読を推奨しています。

IIA(内部監査人協会)が公表している試験出題シラバスに準拠! 出題割合に合わせて、メリハリをつけていますので、最短距離での合格を強力にサポートします!



受講後は、テキストでポイントをチェック!



CIA試験で高い評価を得ているパワーズ社とTACのコラボレーションにより、試験で重視される論点を網羅!合格に必要な情報を効率的に吸収できるテキストとなっています! Part I・IIは、IPPF(専門職の実施の国際フレームワーク)も使用し、合格に必要な知識を身につけます。

図解やケーススタディにより理解を深めることができ、「合格の秘訣」により、重要ポイントをおさえることができます。



トレーニング

「約1,600問」
計4冊(Ver2.0)

- Part I Ver2.0
- Part II Ver2.0
- Part III Ver2.0 上・下巻



問題と解答・解説を同一ページに収録。効率良く学習できる!

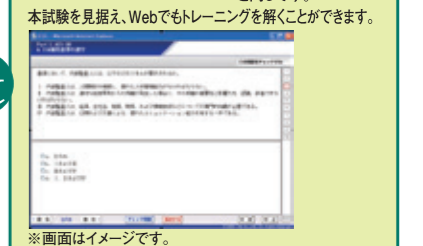


トレーニングで問題演習!



CIA試験はケーススタディ(事例研究)の形式で出題されることもあり、内部監査人としての判断力が試されます。トレーニングを丸暗記しても本試験に対応できませんので、判断力を強化する学習方法を意識的に行うよう心がけましょう。
トレーニングにはテキストでは扱っていない論点の出題も含まれています。トレーニングの解説もインプットの一部として学習してください。

Webでもトレーニングを解くことができます!



※画面はイメージです。

Webトレーニングについて

- ※問題は紙でお渡しするトレーニングと同じ内容です。10問毎に区切ってWeb上にUPされています。
- ※Webトレーニングは「TAC Biz school」で学習いただけます。
- 「https://bs2.tac.biz/check/」にて動作環境のチェックが可能です。
- ※P.11-12のWEB SCHOOLとは別システムで、Web上で問題演習ができるシステムです。

一般教育訓練給付制度対象コース: CIA本科生通信講座 [IPPF教材あり]
制度のご利用には一定の条件がございます。制度の詳細(P.22)をご確認の上ご利用ください。

Web通信講座+教室フリーパス制度

インターネットを利用して24時間いつでもどこでも
臨場感あふれる講義を受けられます。

Web通信講座



特徴

- Webで講義視聴が可能。倍速機能も搭載しています。
- 「教室フリーパス制度」を利用し、八重洲校の教室講座(土曜または日曜)に無料で出席可能!

教室フリーパス制度 (八重洲校) 予約不要



P.16の日程で教室講義を行っております。受講期限内であれば無料で出席可能です。
※社会情勢の変化等により、変更・中止になる場合があります。予めご了承ください。

操作はとても簡単

便利で快適！充実の機能！

講義動画

収録済みの講義をインターネットでご視聴いただけます。お好きな時間にお好きな場所で、TACの教室講義と同様の学習効果を発揮できます。

再生スキップ機能

「10秒」「30秒」「60秒」の3段階で前後にスキップが可能。聞き逃した内容の確認や細かい頭出しもボタン1つで行えます。

続きから再生機能

途中で視聴を停止しても、次の視聴時に「前回停止時間から再生」ボタンをクリックすれば、前回停止した箇所から続きを再生できます。



画面は実際の仕様とは異なる場合があります

再生速度変更機能

0.8～2.0倍までの7段階から再生速度を選択できます。予習はじっくりと、復習は高速再生でなど、学習スタイルに合わせた使い方ができます。

しおり機能

受講中の動画の好きな時点を記憶させることができ、「しおりから再生」ボタンでその場所からすぐに再生できます。

全画面表示機能

お使いの端末の画面いっぱいに講義動画を表示させることができます。板書も見やすくなり、臨場感あふれる講義をご受講いただけます。

WEB SCHOOL (TACの受講生サイト)

質問・最新情報はここで確認!
インターネットならではの機能が充実!

Web講義 いつでも講義視聴が可能!



質問メール いつでもWEB SCHOOL上からメールで質問ができる!

TAC講師にいつでもメールで質問することができます。疑問点や不明点は早めに解決することが大切です。TAC講師が分かりやすく丁寧にお答えします。
<質問メールに関する注意事項>
※CIA試験の内容については非開示が義務付けられているため、ご質問によっては回答できない場合がございます。予めご了承ください。
※質問の回数は、CIA本科生30回、各科目の単科生は各5回となります。

講座からのお知らせ 最新の試験情報や役立つ情報を発信

試験に関する情報、講座案内、受講ガイドなど、受験生に役立つ様々な情報をWeb上で確認できます。TACでは、合格に向かって邁進する受講生をサポートするため、WEB SCHOOL (TACの受講生サイト) 内で、学習支援システム「i-support」を運用しています。講義・教材に関するご質問のほか、講座からの情報収集ツールとしてご利用ください。
※i-supportの対象コースに関しましては、P13-14の「コースガイド」をご覧ください。
※i-supportのご利用は、受講期限までとなります。
※i-supportのご利用は、パソコンでインターネットに接続できる環境があり、パソコンのメールアドレスをお持ちの方に限定させていただきます。
※i-supportの動作環境は、TACホームページ(https://www.tac-school.co.jp/)内のWEB SCHOOLページにて、ご確認ください。なお、i-supportの動作環境は、Webトレーニング・Web模擬試験の動作環境とは異なりますので、ご確認の際は、i-support登録ページ内の動作環境をご覧ください。

自習室

講義等で使用していない教室は自習室としてご利用いただけます。
※本科生・単科生の方は、受講期限までご利用いただけます。
※教室の使用状況により自習室としてご利用いただけない場合もございます。



■ 本科生・単科生特典

特典1 教室フリーパス制度

無料

本科生は、受講期間内であれば、すべての教室講義に出席することができます。
単科生は、該当科目の教室講義に出席することができます。

特典2 再受講割引制度

受講期限後、既に受講した科目の単科生コースを割引受講料で受講することができます。苦手科目の克服や最新情報の取得等にご活用ください。
※受講料はP17-18の「受講料一覧」をご覧ください。

お申込み時に必要となるコースNo.等の詳細は、P17-18の「受講料一覧」をご覧ください。

※0から始まる会員番号をお持ちでない方が本科生・単科生をお申込みされる場合は、別途入会金¥10,000(10%税込)が必要です。

TACは、効率的かつ効果的に学習できる実践的カリキュラムを用意しています。

講義回数とおおよその講義時間



本科生コース TACが最もオススメするオールインワンのメインコース。

CIA本科生 [初学者対象] 一般教育訓練給付制度対象コース: CIA本科生通信講座 [IPPF教材あり]

(Ver2.0)

内部監査の基礎 PartI:講義[全7回] + 内部監査の実務 PartII:講義[全6回] + 内部監査に関連する知識 PartIII:講義[全13回]

会計初学者の方は、Basic会計講座をご受講ください。

教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング・添削課題4回 質問 30回 [i-support]

IPPF教材ありのコースが教育訓練給付制度対象コースとなります。
※教育訓練給付制度の利用にあたり、受講開始より10か月の期間内での添削課題提出と、確認テストの回答送信が必要となります。また、P22およびTAC発行の「教育訓練給付制度パンフレット」にて詳細を必ずご確認ください。
※「Webトレーニング」は紙でお渡しの「トレーニング」と同じ内容です。10問毎に区切ってWeb上にUPされています。

CIA本科生 受講料 (10%税・教材費込み)
Web通信講座+教室フリーパス
¥168,000 (IPPF教材あり)
¥163,600 (IPPF教材なし)

標準学習期間 10ヵ月
受講期間 最大 24ヵ月

uketsuke 受付 TACお申込みサイト

[IPPF教材]

内部監査人協会『専門職的実施の国際フレームワーク-2017年版-』(IPPF)



- 発行:日本内部監査協会
- 判型・ページ数:A5判・並製・345ページ
- 頒布価格:¥4,400-(税込)

※PartIとPartIIで日本内部監査協会発行のIPPFから多くの出題がございます。「IPPF教材なし」商品をお申込みいただいた場合は、ご自身で日本内部監査協会HP等よりお買い求めください。

単科生コース 必要な科目だけ受講できる科目合格者にオススメのコース。

単科生 [初学者・科目合格者対象]

会計初学者の方は、Basic会計講座をご受講ください。

<p>内部監査の基礎 PartI:講義[全7回]</p> <p>(Ver2.0)</p> <p>PartI 受講料 Web通信講座+教室フリーパス (10%税・教材費込み) ¥54,400 (IPPF教材あり) ¥50,000 (IPPF教材なし)</p> <p>受講期間 最大 12ヵ月</p>	<p>内部監査の実務 PartII:講義[全6回]</p> <p>(Ver2.0)</p> <p>PartII 受講料 Web通信講座+教室フリーパス (10%税・教材費込み) ¥54,400 (IPPF教材あり) ¥50,000 (IPPF教材なし)</p> <p>受講期間 最大 12ヵ月</p>	<p>内部監査に関連する知識 PartIII:講義[全13回]</p> <p>(Ver2.0)</p> <p>PartIII 受講料 Web通信講座+教室フリーパス (10%税・教材費込み) ¥100,000</p> <p>受講期間 最大 12ヵ月</p>
---	---	---

教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング 質問 5回 [i-support]
※「Webトレーニング」は紙でお渡しの「トレーニング」と同じ内容です。10問毎に区切ってWeb上にUPされています。

uketsuke 受付 TACお申込みサイト

オプション 論点補強のためのオプション講座。

Basic会計講座 [会計論点補強]

初めて会計を学習される方でも、PartIIIの講義を安心して受講していただけるように、Basic会計講座では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。会計に特化した問題が100題ついてきますので、会計論点を補強したい方にもオススメです。

教材 テキスト、トレーニング
Web 講義[全6回] (約2.5時間/回)
講師 林健 講師

トレーニングは、会計に関する問題が100題ついてきます。CIA試験は、基礎から応用まで幅広く出題されますので、PartIIIの学習前に受講されることをお勧めしています。会計初学者の方はもちろんですが、会計が苦手な方にもお勧めしています。

Basic会計 (10%税・教材費込み)
Web通信講座
¥12,800

受講期間 最大 12ヵ月

uketsuke 受付 TACお申込みサイト

※オプション講座のみのお申込みの場合は、自習室、i-support(質問メール等)はご利用できません。

Web模擬試験 (PartI / PartII / PartIII)

インターネット環境にて、ご自宅のPC等よりご受験いただけます。
・全問 解答解説動画付き
・紙での問題、解答解説付き(保存用)

発送物 「TAC会員証」、「模擬試験冊子(1冊)」
受験方法 「TAC Biz School」にて期限内は制限なく受験可
解答解説 田中義徳 講師

詳細は、P.20をご確認ください

Web模擬試験 (10%税・教材費込み)
¥8,800 (各パート毎)

受講期間 最大 12ヵ月

uketsuke 受付 TACお申込みサイト

※本試験では得点の配点は公表されておりませんが、本Web模擬試験では1問6点の配点としており、80%以上の正答率を合格ラインとしております。
※CIA本科生、単科生で使用する「トレーニング、Webトレーニング」とは異なる問題を使用しております。

※オプション講座のみのお申込みの場合は、自習室、i-support(質問メール等)はご利用できません。

日程は社会情勢の変化等により、変更・中止になる場合があります。予めご了承ください。

Web視聴開始日

科目	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月
PartI	①～⑦ (小菅講師Ver/田中講師Ver)						
PartII	①～⑥ (小菅講師Ver/田中講師Ver)	4月1日(月)	5月1日(水)	6月3日(月)	7月1日(月)	8月1日(木)	9月2日(月)
PartIII	①～⑬ (小菅講師Ver/田中講師Ver)						
BASIC会計	①～⑥	4月1日(月)	5月1日(水)	6月3日(月)	7月1日(月)	8月1日(木)	9月2日(月)
Web模擬試験	各Part毎 全問解説講義	4月1日(月)	5月1日(水)	6月3日(月)	7月1日(月)	8月1日(木)	9月2日(月)

※PartI・PartII・PartIIIは、「小菅講師Ver」、「田中講師Ver」の2パターンの講義視聴が可能です。どちらも現行試験に対応している為、両方の講義を視聴する必要はございません。お好みに合わせてご選択ください。

教材発送日程 ※日程は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

※教材Ver.2.0

発送教材		4月	5月	6月	7月	8月	9月
PartI	テキスト	3月25日(月)	4月24日(水)	5月27日(月)	6月24日(月)	7月25日(木)	8月26日(月)
	トレーニング						
	PartI差分レジュメ・追加資料						
	添削課題1						
PartII	テキスト	3月25日(月)	4月24日(水)	5月27日(月)	6月24日(月)	7月25日(木)	8月26日(月)
	トレーニング						
	添削課題1						
PartIII	テキスト	3月25日(月)	4月24日(水)	5月27日(月)	6月24日(月)	7月25日(木)	8月26日(月)
	トレーニング						
	リース会計基準改訂レジュメ						
	添削課題1・2						
IPPF	IPPF	3月25日(月)	4月24日(水)	5月27日(月)	6月24日(月)	7月25日(木)	8月26日(月)
BASIC会計	テキスト	3月25日(月)	4月24日(水)	5月27日(月)	6月24日(月)	7月25日(木)	8月26日(月)
	トレーニング						
Web模擬試験	模擬試験冊子	3月25日(月)	4月24日(水)	5月27日(月)	6月24日(月)	7月25日(木)	8月26日(月)

※該当コースの教材のみ発送

受講期間

入学月	受講開始日～	～受講期限			
		本科生	各単科Part	Basic会計	各Web模擬試験
2024年 4月	2024年 4月 1日	2026年 3月31日	2025年 3月31日	2025年 3月31日	2025年 3月31日
2024年 5月	2024年 5月 1日	2026年 4月30日	2025年 4月30日	2025年 4月30日	2025年 4月30日
2024年 6月	2024年 6月 3日	2026年 6月 2日	2025年 6月 2日	2025年 6月 2日	2025年 6月 2日
2024年 7月	2024年 7月 1日	2026年 6月30日	2025年 6月30日	2025年 6月30日	2025年 6月30日
2024年 8月	2024年 8月 1日	2026年 7月31日	2025年 7月31日	2025年 7月31日	2025年 7月31日
2024年 9月	2024年 9月 2日	2026年 9月 1日	2025年 9月 1日	2025年 9月 1日	2025年 9月 1日

※入学月ごとにWeb確認テスト(教育訓練給付制度の修了試験に該当します)をWEB SCHOOLにて1回実施します。日程等の詳細は、WEB SCHOOLに掲載の受講ガイドをご確認ください。

教室講座日程 (八重洲校) (全開講コース共通) ※教室講座は、週末に八重洲校でのみ実施しています。 ※本科生・単科生の方は教室フリーパス制度でご出席いただけます。

2024年5月スタート

科目	回数	日程	時間
内部監査の基礎 PartI (Ver2.0)	①	2024年 5月19日(日)	9:30～12:00
	②	5月26日(日)	9:30～12:00
	③	6月2日(日)	9:30～12:00
	④	6月9日(日)	9:30～12:00
	⑤	6月16日(日)	9:30～12:00
	⑥	6月23日(日)	9:30～12:00
	⑦	6月30日(日)	9:30～12:00
内部監査の実務 PartII (Ver2.0)	①	2024年 7月21日(日)	9:30～12:00
	②	7月28日(日)	9:30～12:00
	③	8月4日(日)	9:30～12:00
	④	8月18日(日)	9:30～12:00
	⑤	8月25日(日)	9:30～12:00
	⑥	9月1日(日)	9:30～12:00
内部監査に関連する知識 PartIII	①	2024年 9月22日(日)	9:30～12:00
	②	9月29日(日)	9:30～12:00
	③	10月6日(日)	9:30～12:00
	④	10月20日(日)	9:30～12:00
	⑤	10月27日(日)	9:30～12:00
	⑥	11月3日(日)	9:30～12:00
	⑦	11月10日(日)	9:30～12:00
	⑧	11月17日(日)	9:30～12:00
	⑨	11月24日(日)	9:30～12:00
	⑩	12月1日(日)	9:30～12:00
	⑪	12月8日(日)	9:30～12:00
	⑫	12月15日(日)	9:30～12:00
	⑬	12月22日(日)	9:30～12:00

2024年11月スタート

科目	回数	日程	時間
内部監査の基礎 PartI (Ver2.0)	①	2024年 11月9日(土)	9:30～12:00
	②	11月16日(土)	9:30～12:00
	③	11月23日(土)	9:30～12:00
	④	11月30日(土)	9:30～12:00
	⑤	12月7日(土)	9:30～12:00
	⑥	12月14日(土)	9:30～12:00
	⑦	12月21日(土)	9:30～12:00
内部監査の実務 PartII (Ver2.0)	①	2025年 1月25日(土)	9:30～12:00
	②	2月1日(土)	9:30～12:00
	③	2月8日(土)	9:30～12:00
	④	2月15日(土)	9:30～12:00
	⑤	2月22日(土)	9:30～12:00
	⑥	3月1日(土)	9:30～12:00
内部監査に関連する知識 PartIII	①	2025年3月下旬スタート予定	9:30～12:00
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
	⑪		
	⑫		
	⑬		

以降の日程は、2024年9月発行予定のパンフレットにてお知らせします。日程は変更になる場合がございます。教室講座に参加される方は、最新の日程をTAC CIA講座HP (https://www.tac-school.co.jp/kouza_cia.html)にてご確認ください。

※申込開始日:全商品2024年4月1日(月)より申込可 (受講開始日等は、商品によって異なります。)

CIA本科生 (Ver2.0)

コース名	学習メディア	IPPF教材	コースNo.						クラスNo.	受講料 (10%税込)
			4月入学	5月入学	6月入学	7月入学	8月入学	9月入学		
CIA本科生	Web通信 +教室フリーパス	あり	254-411	254-511	254-611	254-711	254-811	254-911	W1	¥168,000
		無し	254-421	254-521	254-621	254-721	254-821	254-921	W1	¥163,600
CIA本科生 再受講	Web通信 +教室フリーパス	あり	254-412	254-512	254-612	254-712	254-812	254-912	W1	¥84,000
		無し	254-422	254-522	254-622	254-722	254-822	254-922	W1	¥81,800

※教育訓練給付制度の利用にあたり、受講開始より10か月の期間内での添削課題提出と、確認テストの回答送信が必要となります。

内部監査士割引 (40%OFF) 対象: CIA本科生

※インターネット申込みのみ対象

※日本内部監査協会が主催する内部監査士もしくは金融内部監査士の称号をお持ちの方は、CIA本科生を40%OFFでお申込みいただけます。取得時期は問いません。

「お申込みまでの流れ」

- TAC CIA講座まで以下の通りメールを送付してください。
 - ◆メール宛先: cia@tac-school.co.jp (TAC CIA講座)
 - ◆メールタイトル: 「(〇〇〇〇)CIA 内部監査士割引希望メール」
※〇〇〇〇には氏名をご記入ください。
 - ◆メール本文: 以下の3点をお送りください。
 - ・TAC会員番号(会員番号をお持ちの方のみ)
 - ・氏名
 - ・認定証書をデータ化していただき添付(携帯の写真可)
- TACより、「インターネット申込み」で使用できる40%OFFのクーポンコードをお送りさせていただきます(通常1週間程度)。
- インターネットにてお申込みください(e受付)

他校学習経験者割引 (最大40%OFF) 対象: CIA本科生

※インターネット申込みのみ対象

※対象者:他校でCIAの学習をされていた方(受講料が10万円以上のCIA本科生相当の講座を受講されていた方)学習時期は問いません。

「お申込みまでの流れ」

- TAC CIA講座まで以下の通りメールを送付してください。
 - ◆メール宛先: cia@tac-school.co.jp (TAC CIA講座)
 - ◆メールタイトル: 「(〇〇〇〇)CIA 他校学習経験者割引希望メール」
※〇〇〇〇には氏名をご記入ください。
 - ◆メール本文: 以下の3点をお送りください。
 - ・TAC会員番号(会員番号をお持ちの方のみ)
 - ・氏名
 - ・他校での受講コースと受講料が識別できる会員証または受講証明書をデータ化していただき添付(携帯の写真可)
- TACより、「インターネット申込み」で使用できる40%OFFのクーポンコードをお送りさせていただきます(通常1週間程度)。
- インターネットにてお申込みください(e受付)

単科生 PartI (Ver2.0)

コース名	学習メディア	IPPF教材	コースNo.						クラスNo.	受講料 (10%税込)
			4月入学	5月入学	6月入学	7月入学	8月入学	9月入学		
PartI	Web通信 +教室フリーパス	あり	255-411	255-511	255-611	255-711	255-811	255-911	W1	¥54,400
		無し	255-421	255-521	255-621	255-721	255-821	255-921	W1	¥50,000
PartI 再受講	Web通信 +教室フリーパス	あり	255-412	255-512	255-612	255-712	255-812	255-912	W1	¥29,400
		無し	255-422	255-522	255-622	255-722	255-822	255-922	W1	¥25,000

単科生 PartII (Ver2.0)

コース名	学習メディア	IPPF教材	コースNo.						クラスNo.	受講料 (10%税込)
			4月入学	5月入学	6月入学	7月入学	8月入学	9月入学		
PartII	Web通信 +教室フリーパス	あり	256-411	256-511	256-611	256-711	256-811	256-911	W1	¥54,400
		無し	256-421	256-521	256-621	256-721	256-821	256-921	W1	¥50,000
PartII 再受講	Web通信 +教室フリーパス	あり	256-412	256-512	256-612	256-712	256-812	256-912	W1	¥29,400
		無し	256-422	256-522	256-622	256-722	256-822	256-922	W1	¥25,000

単科生 PartIII (Ver2.0)

コース名	学習メディア	コースNo.						クラスNo.	受講料 (10%税込)
		4月入学	5月入学	6月入学	7月入学	8月入学	9月入学		
PartIII	Web通信+教室フリーパス	257-411	257-511	257-611	257-711	257-811	257-911	W1	¥100,000
PartIII再受講	Web通信+教室フリーパス	257-412	257-512	257-612	257-712	257-812	257-912	W1	¥50,000

サポートコース

コース名	学習メディア	コースNo.						クラスNo.	受講料 (10%税込)
		4月入学	5月入学	6月入学	7月入学	8月入学	9月入学		
Basic会計講座	Web通信	258-431	258-531	258-631	258-731	258-831	258-931	W1	¥12,800
Web模擬試験	PartI (TAC BIZ SCHOOL)	258-441	258-541	258-641	258-741	258-841	258-941	W1	¥8,800
	PartII (TAC BIZ SCHOOL)	258-451	258-551	258-651	258-751	258-851	258-951	W1	¥8,800
	PartIII (TAC BIZ SCHOOL)	258-461	258-561	258-661	258-761	258-861	258-961	W1	¥8,800

注意

- 0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金(¥10,000・10%税込)が必要です。会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。
- サポートコースは入会金不要です。
- 受講料には、教材費・消費税10%が含まれています。
- お申込みの時期によって、受講期限は延長になりません。
- 再受講のお申込みは、e受付、TAC各校受付または、郵送のみ承ります。書店代理店・大学生協ではお申込みできません。各校受付:お申込み時に①「本科生での受講を証明するもの(会員証等)」・②「身分証明書」をご提示ください。郵送:①のコピーを同封してください(②は不要です)。
- その他の割引制度との併用はできません。
- サポートコースは、自習室・i-support(質問メール等)をご利用できません。
- 日程等は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

CPEとは

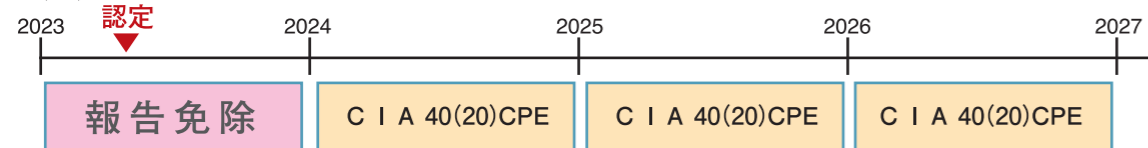
CPE(Continuing Professional Education、継続的専門能力開発制度)とは、IIA認定資格保持者がその称号を得た後も、常に専門職としてふさわしい能力・知識の開発を維持し、その称号を維持するに値しているかの証明を目的としたIIAの制度です。

必要なCPEの単位数は？

資格認定をされた翌年より、毎年12月に報告が必要です。

- ・内部監査実務に従事されている方は、CPE:40単位
- ・内部監査実務に従事されていない方は、CPE:20単位

(例)



CPEの取得方法は？

CIAの専門的能力の開発や維持に貢献する分野であれば、監査及び会計関連・IT・経済など、比較的幅広い分野での活動が認められます。

CPE単位は50分=1単位として付与されます。

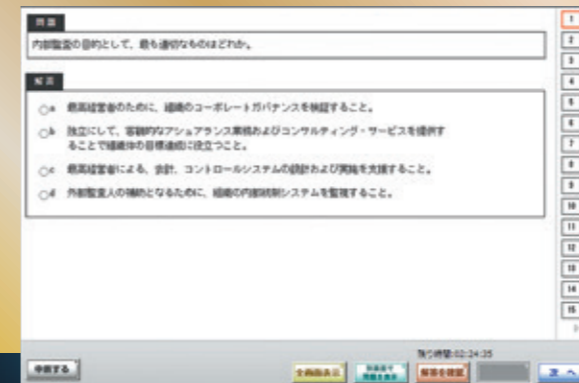
資格の学習でもCPEを取得し報告できますし、IIAが開催しているセミナーへの出席等でもCPEを取得することが可能です。

※CPEにつきまして、より詳細な情報および最新情報は、協会ホームページ(<http://www.iiajapan.com/iiia/>)をご確認ください。



Web模擬試験

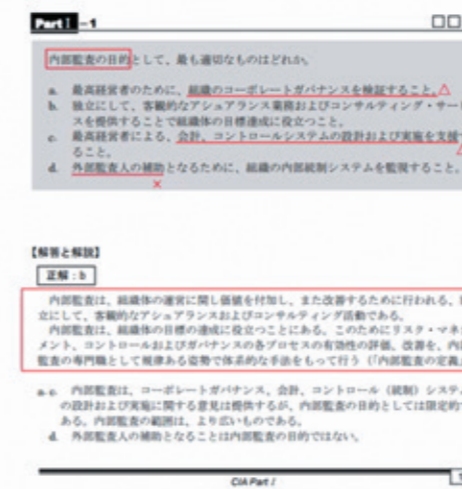
- インターネット環境にて、ご自宅のPC等よりご受験いただけます。
- 全問 解答解説動画付き ●紙での問題、解答解説付き(保存用)



▶ 試験時間	PartI	2時間30分
	PartII	2時間
	PartIII	2時間
▶ 問題数	PartI	125問
	PartII	100問
	PartIII	100問
▶ 期限内であれば何度も受験可能		
▶ 受講料 各Part 8,800円(税込)		

※本試験では得点の配点は公表されておませんが、本Web模擬試験では1問6点の配点としており、80%以上の正答率を合格ラインとしております。

解答解説動画イメージ



全問解答解説動画付き

解答解説動画では、重要論点を強調し
なぜその選択肢が
正解なのかを解説しております。

※問題と解答解説は保存用として、冊子でも送付いたします。
※冊子では1問ごと、1ページに問題と解説が記載されています。

Check!

Web模擬試験は「TAC Biz School」で受験いただけます。
「<https://bs2.tac.biz/check/>」にて事前に動作環境の
チェックが可能です。



Web 模擬試験 受験方法

- (インターネット・郵送でお申込みの場合)

1 お申込後、約1週間程度でTAC会員証がお手元に届きます。*

※TAC Biz Schoolのご利用が初めての方は、お申込後、会員証がお手元に届き次第受験可能です。(既にTAC Biz Schoolをご利用の方は、申込登録が完了後、通常3営業日程度で受験可能です。)
- (受付窓口でお申込みの場合)

2 TAC会員証に記載の「ID・パスワード」にて、「TAC Biz School」へログインください。
※既にTAC Biz Schoolをご利用の方は、ご利用中の「ID・パスワード」に本Web模擬試験が追加されます。ご利用中の「ID・パスワード」にてログインください。
- 3 「TAC Biz School」にてWeb模擬試験をご受験いただけます。

※発送物:「TAC会員証」、「模擬試験冊子(1冊)。(異なる部門より発送となるため、会員証と冊子は同送ではございません。)

注意

- CIA講座模擬試験は、入会金不要コースです。
- TAC会員番号をお持ちの方は、必ずお手持の会員番号にてお申込みください。(新規でTAC会員番号を作成されないようご注意ください。)
- 受講料には、教材費・消費税10%が含まれています。
- お申込みの時期によって、受講期限は延長になりません。
- 自習室、i-support(質問メール)はご利用できません。
- 本模擬試験は、本試験の合格を保証するものではありません。

TAC MAP

TAC直営校

札幌校 (移転オープン) 〒060-0063 札幌市中央区南三条西4丁目8番地2 アール札幌ビル2F ☎011(242)4477(代)	仙台校 (移転オープン) 〒980-0027 仙台市青葉区中央4丁目6番1号 SS30 2F ☎022(266)7222(代)	水道橋校 〒101-0061 千代田区神田三崎町2-10-8 オリックス水道橋ビル ☎03(5276)0271(代)	新宿校 〒160-0023 新宿区西新宿1-21-1 明生ビル9F ☎03(5322)1040(代)	早稲田校 〒169-0071 新宿区戸塚町1-101-16 早稲田ビル ☎03(5287)4940(代)	池袋校 〒171-0022 豊島区南池袋1-19-6 オリックス池袋ビル6F ☎03(5992)2850(代)
渋谷校 〒150-0031 渋谷区桜丘町31-15 JMFビル渋谷02 5F ☎03(3462)0901(代)	八重洲校 〒104-0031 東京都中央区京橋1-12-2 住友生命八重洲ビル1F ☎03(6228)8501(代)	立川校 〒190-0012 立川市曙町1-14-10 井門立川町ビル ☎042(528)8998(代)	中大駅前校 〒192-0351 八王子市中央町216-1 ☎042(678)7210(代)	町田校 〒194-0022 町田市森野1-14-17 商友町田ビル6F ☎042(721)2202(代)	横浜校 〒220-0011 横浜市西区高島2-19-12 スカイビル25F ☎045(451)6420(代)
日吉校 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-5-21 ☎045(560)6166(代)	大宮校 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木1-10-17 シン大宮サウスウイング4F ☎048(644)0676(代)	津田沼校 〒275-0016 野田市津田沼1-23-1 イオンモール津田沼3F ☎047(470)1831(代)	名古屋校 〒453-0014 名古屋市中区東区1-1-7 NEWNO名古屋駅前7F ☎052(559)5555(代)	京都校 〒600-9421 京都市下京区小橋通鳥居入道町町159-1 JRE西京丸セータービル3F ☎075(351)1122(代)	梅田校 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル4F ☎06(6371)5781(代)
なんば校 〒542-0076 大阪市中央区難波2-1-2 大丸生命難波ビル2F ☎06(6211)1422(代)	神戸校 〒651-0087 神戸市中央区東港町6-1-10 オリックス神戸三宮ビル2F ☎078(241)4895(代)	広島校 〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋ビル4F ☎082(224)3355(代)	福岡校 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-6 緑ビル2F ☎092(724)6161(代)		

TAC提携校

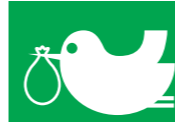
群馬校 中央総合学院内 〒371-0805 群馬市南町3-14-1 JR前橋駅南口より徒歩2分 ☎027(226)1823(代)	富山校 富山情報ビジネス専門学校 〒930-0341 射水市三ヶ576 8階ユニクスビル内 JR射水駅南口より徒歩5分 ☎0766(55)5513(代)	金沢校 エルアンドエルシステム社 〒921-8044 金沢市米原町7-28-1 JR西金沢駅より徒歩3分 ☎076(245)7605(代)	岡山校 新穴吹カレッジサービス 〒700-0023 岡山市北区駅前町1-8-18 イットニコビル JR岡山駅南口より徒歩3分 ☎086(236)0225(代)	福山校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒720-0066 福山市三ノ丸町30-1 福山駅前サンサンビル2F JR福山駅南口より徒歩3分 ☎084(991)0250(代)	高校校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒760-0021 高松市の丸14-10 専門学校穴吹カレッジ JR高松駅南口より徒歩5分 ☎087(822)3313(代)
徳島校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒770-0832 徳島市島本町3-12-7 マスダビル3F JR徳島駅より徒歩1分 ☎088(653)3588(代)	大分校 学校法人 府内学園内 〒860-0830 大分市金池南1-8-5 府内エデュケーションビル内 JR大分駅より徒歩3分 ☎097(546)5224(代)	熊本校 税理士法人 東京会計グループ 〒860-0844 熊本市中央区水道町9-29 フォレストビル水道 市電水道町電停より徒歩1分 ☎096(323)3622(代)	宮崎校 富崎ビジネス公務員専門学校内 〒880-0812 宮崎市高千穂通2-2-27 JR宮崎駅より徒歩4分 ☎0985(22)6881(代)	沖縄校 ●那覇校舎 〒902-0067 那覇市東里44-4 安里三光ビルより徒歩1分 ☎098(864)2670(代) ●中部校舎 098(931)1661 〒904-0022 沖縄市南田3-7-33	

最新の情報は HPIにてご確認ください。



TAC 校舎 検索

校舎ごとに営業時間等が異なります。詳しくは各校舎までお問い合わせください。



一般教育訓練給付制度とは

以下、教育訓練給付制度に関する説明は、全て「一般教育訓練」についての内容です。「特定一般教育訓練」「専門実践教育訓練」ではありませんのでご注意ください。

入会金・受講料の20%(上限10万円)が
ハローワークから支給される制度です!

約6,000名の方が
TACで給付制度を利用しており、
学習のペースメーカーとして
活用されています!



働く人の主体的な能力開発の取組を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者※(在職者)または被保険者※であった方(離職者)が厚生労働大臣の指定する一般教育訓練(以下「対象コース」という)を受講し、一定の修了要件を満たし修了した場合、**本人が支払った入会金・受講料の20%に相当する額(上限10万円)が給付金としてハローワークから支給されます。** ※一般被保険者及び高齢被保険者

制度ご利用の6ステップ

- ステップ1 本人に支給要件があるか確認**
 受講開始日において雇用保険の被保険者期間が要件を満たしているか確認してください。
 (1) 初めて制度を利用する方は、通算して1年以上
 (2) 過去に制度を利用したことがある方は、
 当時の受講開始日から通算して3年以上かつ前回の給付金受給日から3年以上経過していること
- ステップ2 TACで講座(対象コース)を申込**
 制度の対象となるコースについてはTAC発行の教育訓練給付制度パンフレット・各講座のパンフレットをご確認ください。
 ※講座申込時、もしくは1ヵ月以内に「一般教育訓練給付制度申請申込書」をTACに提出してください。
- ステップ3 TACで受講**
 途中でコース変更せずに修了要件クリアを目指して計画的に学習を進めてください。
 【通学】出席要件…修了日までに**出席率が80%以上**あること
 【通信】添削答案提出要件…修了日までに**添削答案提出率が80%以上**あること
 【通学・通信共通】修了試験…**修了試験での正答率が60%以上**であること ※修了試験は各コースの受講期間後半に実施します。
- ステップ4 受講修了**
 修了要件を満たし修了した方には、修了日以降にTACより修了証明書および関係書類を郵送いたします。
- ステップ5 本人がハローワークへ給付金支給申請**
 本人の住所を管轄するハローワークで支給申請を行います。
 申請期限は、原則として修了日の翌日から1ヵ月以内です。
- ステップ6 教育訓練給付金受給**
 支給申請時に届け出た金融機関の口座にハローワークから給付金が振り込まれます。

給付制度利用者の声
 出席率80%達成を自分に課すことでモチベーションを維持することができました。(通学生)
 添削課題の提出率80%達成は、学習継続のペースメーカーになりました。(通信生)
 修了要件をクリアして、修了証が自宅に郵送されてきたときは達成感を感じました。(通学生)

詳しくは、TAC 教育訓練給付制度専用ホームページをご覧ください。

ホームページは **TAC給付** 検索 <https://www.tac-school.co.jp/kyufu.html> 2023年1月23日現在